

1 調査目的

本市では、平成30年3月に京都市障害者施策推進計画、障害福祉計画及び障害児福祉計画の3つの計画を「はぐくみ支え合うまち・京都ほほえみプラン（計画期間：平成30年度～令和5年度）」（以下「ほほえみプラン」という。）として一体的に策定し、障害保健福祉施策の総合的な推進に取り組んでいるところです。

今般、次期ほほえみプランの策定に向けた障害保健福祉施策の在り方検討の基礎資料とするため、障害のある市民の状況やニーズについて、下記の調査を実施しました。

- ① 京都市障害者生活状況調査
- ② 京都市施設入所待機者調査
- ③ 京都市施設入所者調査

<調査のポイント>

- 現行プランでは、施策目標の一つに「地域で自立して生活できる仕組みづくり」を掲げ、地域生活支援拠点等を整備し、住み慣れた地域での生活を支える支援体制の充実に取り組んでいます。
- 今日的な課題として、医療的ケア児者を含めた障害者等の重度化、親等も含めた高齢化といったニーズに対応する必要がある、重い障害があっても、地域で自立して生活が続けられる環境を整備するため、今後、地域生活支援拠点等の機能強化に向けた検討を行う必要があります。
- そのため、身近な地域で安心して生活が続けられる環境を更に整えるため、生活状況調査等にその検討に必要なニーズを把握する項目を追加して調査を行います。

2 調査概要

① 京都市障害者生活状況調査

ア 調査対象

市内に住所を有し、障害のある方（手帳所持者に限らない）

イ 調査方法

- ・京都市情報館市民意見募集ページのマルチフォームでの直接入力のほか、京都市ホームページ上で調査票をダウンロードのうえ、電子メール、郵送、FAXまたは持参により回答
- ・調査対象となる方(2,000人)を無作為に抽出し、郵送により実施

ウ 調査期間

令和4年11月1日～
令和5年1月31日まで

エ 回答数

1,020件

② 京都市障害者施設入所
申込者調査

ア 調査対象

京都市内に住所を有し、
令和4年11月1日時点で
施設入所の申し込みを
している方（129人）

イ 調査方法

郵送により実施

ウ 調査期間

令和4年11月1日～
令和4年11月30日
まで

エ 回答数

95件

③ 京都市障害者施設入所者
調査

ア 調査対象

京都市内に住所を有し、
令和4年11月1日時点で
京都府下の施設に入所
されている方

イ 調査方法

郵送により実施

ウ 調査期間

令和4年12月28日～
令和5年2月17日
まで

エ 回答数

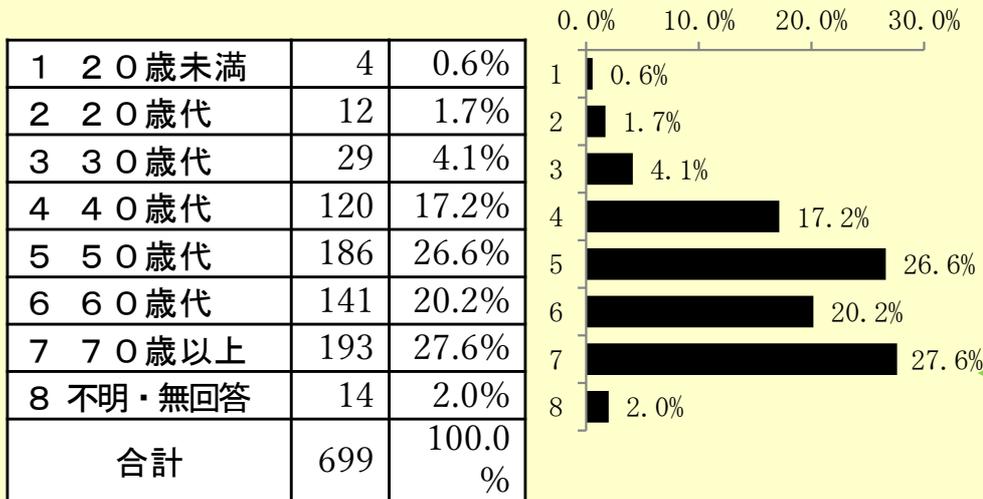
296件

(1) 介護者の高齢化

① 主な介護者の高齢化が顕著。

生活状況調査 問15 (ア) ①

主な支援者の年齢について、当てはまるもの1つに○をつけてください。



60歳以上が
47.8%

② 親亡き後の生活支援が、特に必要と感じている方が多い。
とりわけ、療育手帳所持者は半数が必要との回答。

生活状況調査 問28

あなた（調査の対象となる方）が、特に必要と感じている支援はどのようなことですか。
下記の1～36までのうち、主なものを7つまで○をつけてください。

1 身近な医療機関に通院して医療を受けること	199	19.5%
4 医療費の負担軽減	129	12.7%
5 障害の進行・二次障害を予防すること	117	11.5%
6 リハビリ・自立訓練を受けること	122	12.0%
11 仕事につくこと・続けることを容易にする制度の充実	203	19.9%
12 合理的配慮がなされた働く場または活動の場の確保	199	19.5%
13 障害がある人の家族に対する支援事業 (休息のための一時入所(レスパイトケア)等)	142	13.9%
15 障害者への理解を深めるための教育・機会の充実	152	14.9%
16 障害のある人の権利や人権を守るための支援	143	14.0%
17 外出・移動の支援	149	14.6%
20 道路、交通機関、公共施設等を利用しやすくすること (バリアフリー等)	107	10.5%
28 障害のある人に適した住宅の確保	104	10.2%
30 手当・年金・助成金等の経済的援助の充実	341	33.5%
31 障害福祉サービスの利用者負担の軽減	135	13.2%
32 災害時、緊急時の情報提供、通信体制、避難誘導対策の充実	141	13.8%
33 相談対応等の充実	148	14.5%
34 親亡き後の生活支援	267	26.2%
37 不明・無回答	214	21.0%
合計	4,008	393.3%

2番目に多い

1	身近な医療機関に通院して医療を受けること	62	14.5%
4	医療費の負担軽減	43	10.0%
6	リハビリ・自立訓練を受けること	43	10.0%
9	特別支援教育の充実	50	11.7%
11	仕事につくこと・続けることを容易にする制度の充実	106	24.8%
12	合理的配慮がなされた働く場または活動の場の確保	118	27.6%
13	障害がある人の家族に対する支援事業（休息のための一時入所（レスパイトケア）等）	109	25.5%
14	支援指導、相談等	70	16.4%
15	障害者への理解を深めるための教育・機会の充実	79	18.5%
16	障害のある人の権利や人権を守るための支援	69	16.1%
17	外出・移動の支援	97	22.7%
18	スポーツ、レクリエーション、文化活動に対する援助	44	10.3%
22	入所サービスの利用	67	15.7%
23	通所サービス（デイサービス等）の利用	51	11.9%
28	障害のある人に適した住宅の確保	64	15.0%
30	手当・年金・助成金等の経済的援助の充実	149	34.8%
31	障害福祉サービスの利用者負担の軽減	61	14.3%
32	災害時、緊急時の情報提供、通信体制、避難誘導対策の充実	55	12.9%
33	相談対応等の充実	67	15.7%
34	親亡き後の生活支援	214	50.0%
37	不明・無回答	66	15.4%

(2) 緊急時の対応への不安

- ・介護している家族の急な不在時の支援方法が未定が多い

生活状況調査 問15ア③

主な支援者の方が万一急病、事故、出産などのため、一時的に支援ができなくなった場合、どうすることになっていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1	同居している家族などに頼む	252	36.1%
2	親戚・知り合いの人に頼む	92	13.2%
3	近所の人に頼む	3	0.4%
4	ホームヘルパーに頼む	27	3.9%
5	施設などに一時的に依頼する（ショートステイなど）	53	7.6%
6	障害者地域生活支援センターなどの相談支援機関に相談する	39	5.6%
7	通所している施設に相談する	36	5.2%
8	区役所のケースワーカー・保健師等に相談する	23	3.3%
9	その他	31	4.4%
10	考えていない・決まっていない	129	18.5%
11	不明・無回答	14	2.0%
合計		699	100.0%

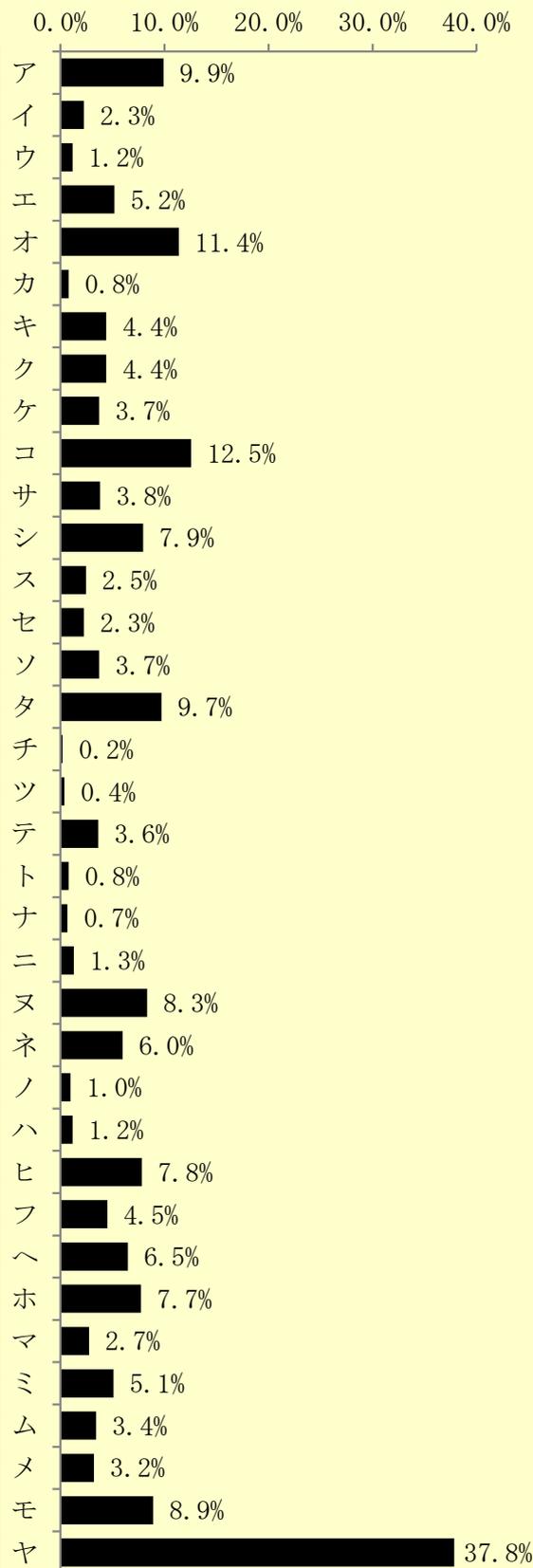
考えていない、
決まっていない方が2割弱

(3) サービスの提供体制や量の確保

① 今後利用したい（又は回数増したい）サービスとして、移動支援、短期入所、居宅介護、グループホーム、計画相談が多い

生活状況調査 問27

★ ア	居宅介護（ホームヘルプ）	101	9.9%
イ	重度訪問介護	23	2.3%
ウ	重度障害者等包括支援	12	1.2%
エ	生活介護	53	5.2%
★ オ	短期入所（ショートステイ）	116	11.4%
カ	療養介護	8	0.8%
キ	施設入所支援	45	4.4%
ク	同行援護	45	4.4%
ケ	行動援護	38	3.7%
★ コ	移動支援	128	12.5%
サ	就労継続支援A型	39	3.8%
シ	就労継続支援B型	81	7.9%
ス	就労移行支援	25	2.5%
セ	就労定着支援	23	2.3%
ソ	自立訓練（機能訓練、生活訓練、 宿泊型自立訓練）	38	3.7%
★ タ	グループホーム	99	9.7%
チ	居宅訪問型児童発達支援	2	0.2%
ツ	保育所等訪問支援	4	0.4%
テ	放課後等デイサービス	37	3.6%
ト	児童発達支援	8	0.8%
ナ	障害児入所支援	7	0.7%
ニ	障害児相談支援	13	1.3%
★ ヌ	計画相談支援	85	8.3%
ネ	自立生活援助	61	6.0%
ノ	地域移行支援	10	1.0%
ハ	地域定着支援	12	1.2%
ヒ	自立支援医療 （育成医療、更生医療、精神通院医療）	80	7.8%
フ	重度心身障害者医療費助成制度	46	4.5%
ヘ	補装具	66	6.5%
ホ	日常生活用具	79	7.7%
マ	意思疎通支援	28	2.7%
ミ	成年後見制度	52	5.1%
ム	地域活動支援センター	35	3.4%
メ	その他	33	3.2%
モ	今後利用したい障害福祉サービスは特にな い	91	8.9%
ヤ	不明・無回答	386	37.8%
合計		2,009	197.0%

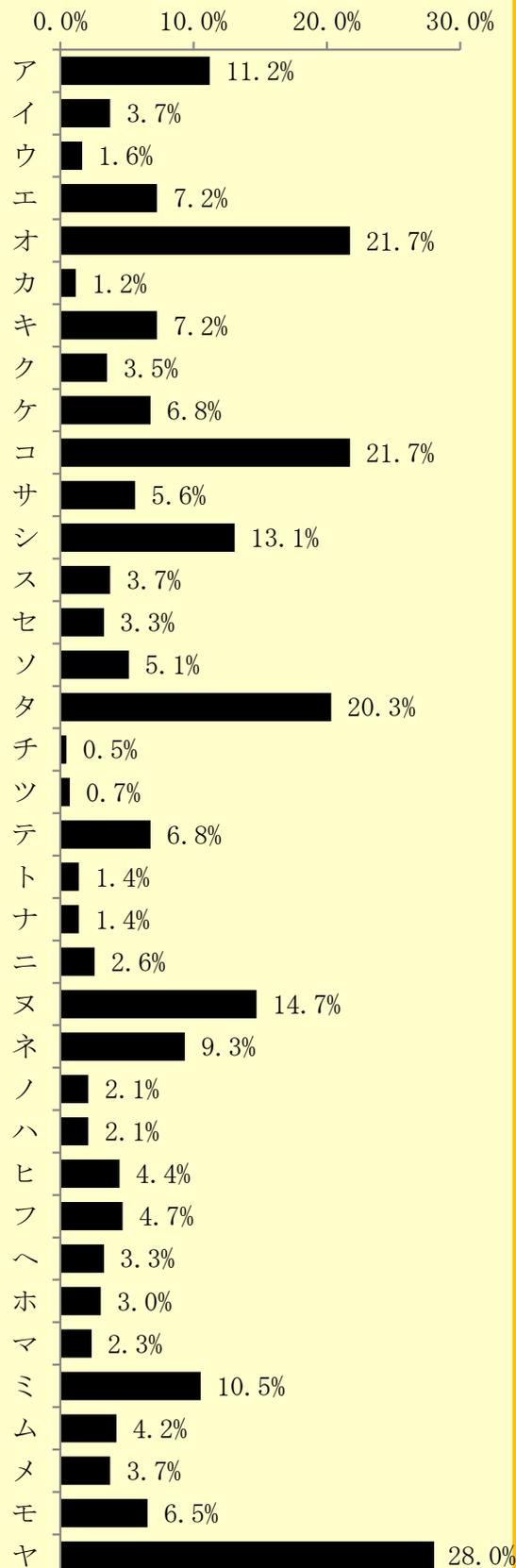


移動支援12.5%、短期入所11.4%、
居宅介護9.9%、GH9.7%、計画相談8.3%

② 療育手帳所持者は、移動支援、短期入所、グループホーム、計画相談のニーズが顕著に増加（約2倍）。

生活状況調査 問7×問27

ア	居宅介護（ホームヘルプ）	48	11.2%
イ	重度訪問介護	16	3.7%
ウ	重度障害者等包括支援	7	1.6%
エ	生活介護	31	7.2%
オ	短期入所（ショートステイ）	93	21.7%
カ	療養介護	5	1.2%
キ	施設入所支援	31	7.2%
ク	同行援護	15	3.5%
ケ	行動援護	29	6.8%
コ	移動支援	93	21.7%
サ	就労継続支援A型	24	5.6%
シ	就労継続支援B型	56	13.1%
ス	就労移行支援	16	3.7%
セ	就労定着支援	14	3.3%
ソ	自立訓練 （機能訓練、生活訓練、宿泊型自立訓練）	22	5.1%
タ	グループホーム	87	20.3%
チ	居宅訪問型児童発達支援	2	0.5%
ツ	保育所等訪問支援	3	0.7%
テ	放課後等デイサービス	29	6.8%
ト	児童発達支援	6	1.4%
ナ	障害児入所支援	6	1.4%
ニ	障害児相談支援	11	2.6%
ヌ	計画相談支援	63	14.7%
ネ	自立生活援助	40	9.3%
ノ	地域移行支援	9	2.1%
ハ	地域定着支援	9	2.1%
ヒ	自立支援医療 （育成医療、更生医療、精神通院医療）	19	4.4%
フ	重度心身障害者医療費助成制度	20	4.7%
ヘ	補装具	14	3.3%
ホ	日常生活用具	13	3.0%
マ	意思疎通支援	10	2.3%
ミ	成年後見制度	45	10.5%
ム	地域活動支援センター	18	4.2%
メ	その他	16	3.7%
モ	今後利用したい障害福祉サービス は特にない	28	6.5%
ヤ	不明・無回答	120	28.0%
合計		1,068	249.5%



移動支援21.7%、短期入所21.7%、
居宅介護11.2%、GH20.3%、計画相談14.7%

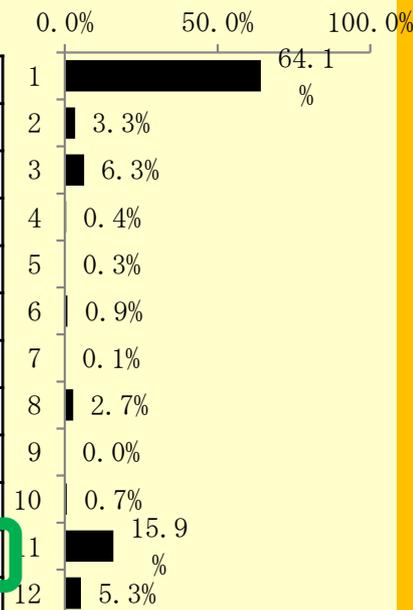
(4) 災害時の不安

①避難行動を支援する方がいない方が多い

生活状況調査 問35

災害が発生した際、主に避難所までの避難行動を支援する方は誰ですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1	家族・親戚	654	64.1%
2	知人、友人（近所の人や職場の同僚等を含む）	34	3.3%
3	福祉サービス事業所や福祉施設の職員	64	6.3%
4	学校、幼稚園、保育園の先生	4	0.4%
5	区役所のケースワーカー・保健師など	3	0.3%
6	障害者団体、患者会、家族会	9	0.9%
7	民生委員・児童委員	1	0.1%
8	町内会などの自治組織	28	2.7%
9	有償ボランティア	0	0.0%
10	その他	7	0.7%
11	特にいない	162	15.9%
12	不明・無回答	54	5.3%
合計		1,020	100.0%



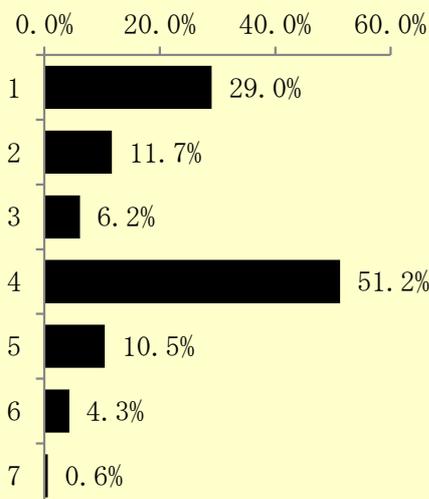
**避難行動を支援する方が、特にいない
(15.9%)**

②障害等の性質上、避難所への避難が困難・予定していない方が一定数存在する。

生活状況調査 問35 (ア) 【「11 特にいない」と答えた方】

主な理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1	避難行動の支援は必要だが、近くに頼れる人がいないため	47	29.0%
2	避難行動の支援は必要だが、避難方法を特に定めていないため	19	11.7%
3	障害等の性質上、避難所へ避難することができないため（電源の確保が難しいなど）	10	6.2%
4	1人で避難することが可能なため	83	51.2%
5	在宅避難を想定しており、避難所への避難を予定していないため	17	10.5%
6	その他	7	4.3%
7	不明・無回答	1	0.6%
合計		184	113.6%



**障害の性質上、避難困難 (6.2%)
避難所への避難を予定していない (10.5%)**

①地域で生活を継続するための条件として、介護、住まい、緊急時の対応が必要が5割ある。

生活状況調査 問38

あなた（調査の対象となる方）は、自宅や地域で生活するためには、どのような条件が必要だと思いますか。下記の1～14までのうち、主なものを5つまで○をつけてください。

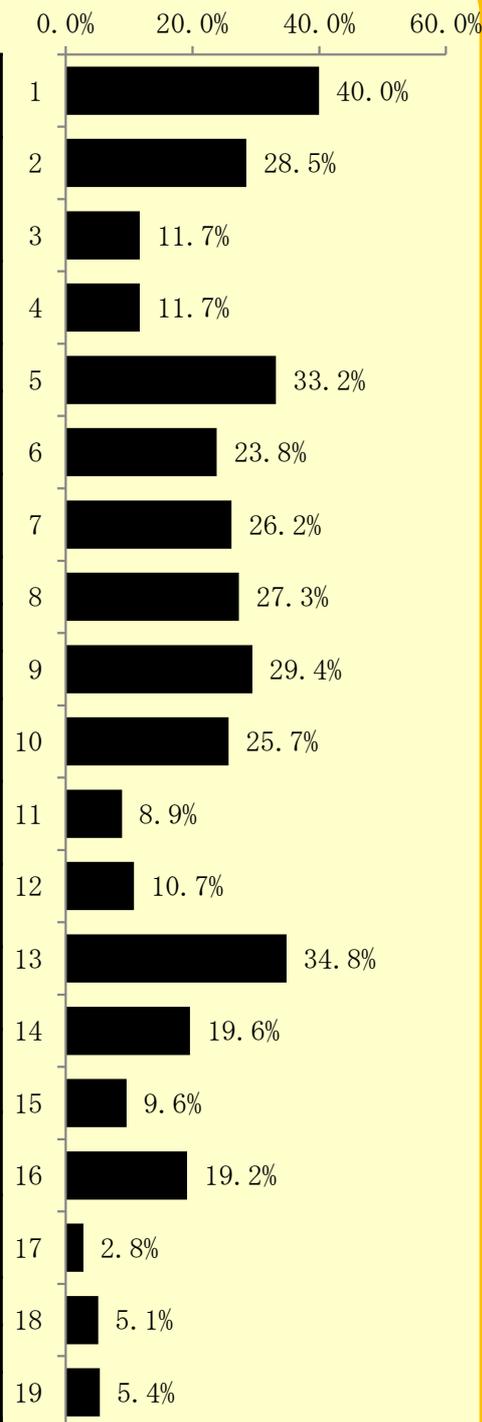
1 介護、家事の手伝いを頼める人がいる（サービスがある）こと	361	35.4%
2 家族の負担を減らす介護や身の回りの世話を頼める人がいる（サービスがある）こと	239	23.4%
3 介護や訓練を受けるため施設に通えること	101	9.9%
4 施設で働けること	72	7.1%
5 短期入所など緊急時に宿泊できる場所があること	208	20.4%
6 外出の介助を頼める人がいる（サービスがある）こと	177	17.4%
7 主治医や医療機関が近くにあること	333	32.6%
8 仕事があること	248	24.3%
9 住まいがあること	295	28.9%
10 グループホームなどの仲間や共同生活できる場があること	131	12.8%
11 単身で生活できる住まいがあること	90	8.8%
12 単身生活に移行するための体験があること	58	5.7%
13 緊急時に早期に支援してくれる人がいること	295	28.9%
14 地域で何でも相談できる相談員や相談窓口があること	205	20.1%
15 夜間・早朝・休日に相談できる窓口があること	110	10.8%
16 スーパーや銀行などの生活に必要な機関が近くにあること	297	29.1%
17 その他	20	2.0%
18 特にない	83	8.1%
19 不明・無回答	91	8.9%
合計	3,414	334.7%

- ・介護 介護（35.4%）＋世話（23.4%）＝58.8%
- ・住まい 住まい（28.9%）＋GH（12.8%）＋単身住まい（8.8%）＝50.5%
- ・緊急時対応 短期入所（20.4%）＋支援（28.9%）＝49.3%

- ② 療育手帳所持者は、介護、住まい、緊急時の対応を条件に挙げる者が7割と顕著に増加。特に緊急時の短期入所、グループホーム、緊急時の支援を求めるニーズが顕著に増加（約1.5倍）

生活状況調査 問7 療育手帳所持者×問38

1 介護、家事の手伝いを頼める人がいる（サービスがある）こと	171	40.0%
2 家族の負担を減らす介護や身の回りの世話を頼める人がいる（サービスがある）こと	122	28.5%
3 介護や訓練を受けるため施設に通えること	50	11.7%
4 施設で働けること	50	11.7%
5 短期入所など緊急時に宿泊できるところがあること	142	33.2%
6 外出の介助を頼める人がいる（サービスがある）こと	102	23.8%
7 主治医や医療機関が近くにあること	112	26.2%
8 仕事があること	117	27.3%
9 住まいがあること	126	29.4%
10 グループホームなどの仲間や共同生活できる場があること	110	25.7%
11 単身で生活できる住まいがあること	38	8.9%
12 単身生活に移行するための体験があること	46	10.7%
13 緊急時に早期に支援してくれる人がいること	149	34.8%
14 地域で何でも相談できる相談員や相談窓口があること	84	19.6%
15 夜間・早朝・休日に相談できる窓口があること	41	9.6%
16 スーパーや銀行などの生活に必要な機関が近くにあること	82	19.2%
17 その他	12	2.8%
18 特になし	22	5.1%
19 不明・無回答	23	5.4%
合計	1,599	373.6%



- ・介護 介護（40.0%）+世話（28.5%）=68.5%
- ・住まい 住まい（29.4%）+ GH（25.7%）+単身住まい（8.9%）=64.0%
- ・緊急時対応 短期入所（33.2%）+支援（34.8%）=68.0%

(6) 施設入所からの地域移行

①施設に入所した理由として、在宅での家族介護の限界と親亡き後の不安で9割を占める。

施設入所者調査 問13

あなた（調査の対象となる方）が施設入所をしているのはなぜですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

(全休)	(複数回答)	
1 在宅で家族からの支援を受けることができない	169	(62.8%)
2 家に段差などがあり、暮らしづらい	9	(3.3%)
3 施設で訓練を受けたいという目的があった	29	(10.8%)
4 介護サービスやヘルパー時間数などの見守りが不足	9	(3.3%)
5 グループホームなどの地域地盤が不足	9	(3.3%)
6 親亡き後の不安	81	(30.1%)
7 情報がなく施設以外の手立てがない	9	(3.3%)
8 その他	21	(7.8%)
9 わからない	21	(7.8%)
合計	357	(132.7%)
対象人数	269	(100.0%)

在宅で家族からの支援を受けることができない62.8% 親亡き後の不安30.1%

②施設での暮らしの望みとして、自由な外出、個室を望む回答が7割を占める。

施設入所者調査 問19

今の施設での暮らしで望んでいることについて、当てはまるものすべてに○をつけてください。

(複数回答)		
1 自分だけの部屋	86	(32.0%)
2 好きな時間に食事	62	(23.0%)
3 好きな時間に風呂	50	(18.6%)
4 好きな時間に寝起き	57	(21.2%)
5 好きな時に外出	117	(43.5%)
6 もっと手厚い介助	42	(15.6%)
7 少人数の家庭的サービス	45	(16.7%)
8 その他	21	(7.8%)
9 特にない	27	(10.0%)
合計	507	(188.5%)
対象人数	269	(100.0%)

好きな時に外出43.5%、
自分だけの部屋32.0%

③ 将来、施設を出て暮らすことを希望する方は、38.5%

施設入所者調査 問20

あなた（調査の対象となる方）は将来、施設を出て、自分の住みたいところで暮らしたいと思いますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。



ずっと施設で暮らしたい51.2%

施設を出て一人暮 (8.2%) + GH (9.3%) + 家族等と暮らしたい (21.0%) = 38.5%

④ 施設を出て、地域で暮らす際に必要な環境として、介護、金銭管理、緊急時対応、住まいのニーズが高い。

施設入所者調査 問22

あなた（調査の対象となる方）が、施設を出て、自分の住みたいところで暮らすことを考えた時、必要だと思うことについて、下記の1～18までのうち、主なものを5つまで○をつけてください。

		(複数回答)	
1	介護、家事手伝いを頼める人がいる（サービスがある）	153	(56.9%)
2	家族の負担を減らす介護や身の回りの世話を頼める人がいる（サービスがある）	54	(20.1%)
3	介護や訓練を受けるため施設に通える	27	(10.0%)
4	施設で働ける	11	(4.1%)
5	短期入所など緊急時に宿泊できる場所がある	62	(23.0%)
6	外出の介助を頼める人がいる（サービスがある）	103	(38.3%)
7	十分な医療が受けられる	127	(47.2%)
8	お金を管理する人がいる	143	(53.2%)
9	仕事がある	26	(9.7%)
10	住まいがある	92	(34.2%)
11	グループホームなどの仲間や共同生活できる場がある	39	(14.5%)
12	単身生活に移行するための体験があること	6	(2.2%)
13	緊急時に早期に支援してくれる人がいる	70	(26.0%)
14	地域でなんでも相談できる相談員や相談窓口がある	21	(7.8%)
15	夜間・早朝・休日に相談できる窓口がある	14	(5.2%)
16	スーパーや銀行などの生活に必要な機関が近くにある	21	(7.8%)
17	その他	4	(1.5%)
18	特にない	15	(5.6%)
	合計	988	(367.3%)
	対象人数	269	(100.0%)

介護 介護 (56.9%) + 世話 (20.1%) + 外出支援 (38.3%) = 115.3%、金銭管理53.2%

緊急時 短期入所 (23.0%) + 支援 (26.0%) = 49.0%

住まい 住まい (34.2%) + GH (14.5%) = 48.7%

(7) 施設入所希望者の地域生活の継続

①希望者は30歳代から50歳代以下が7割、重度が8割

施設入所申込者調査 問2

あなた（調査の対象となる方）の年齢をお答えください。
（令和4年（2022年）11月1日時点の年齢）

20歳未満	1	(1.1%)
20歳代	18	(18.9%)
30歳代	22	(23.2%)
40歳代	24	(25.3%)
50歳代	22	(23.2%)
60歳代	6	(6.3%)
70歳以上	1	(1.1%)
無回答	1	(1.1%)
合計	95	(100.0%)



30代 (23.2%) + 40代 (25.3%) + 50代 (23.2%) = 71.7%
 区分6 (52.4%) + 区分5 (28.6%) = 81.0%

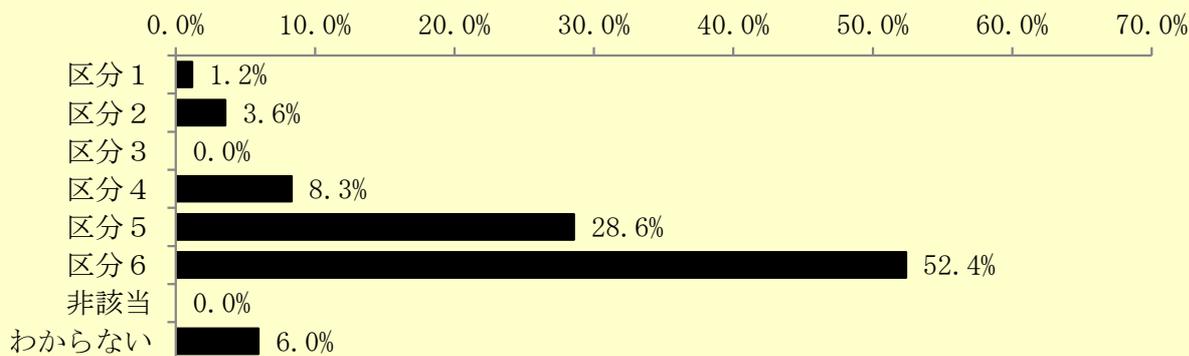
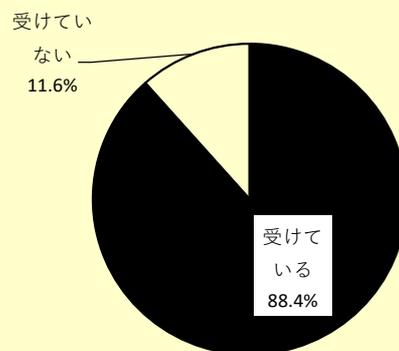
施設入所申込者調査 問8

あなた（調査の対象となる方）は、障害支援区分の認定を受けていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

(ア) 【障害支援区分の認定を「受けている」と答えた方】

あなたの障害支援区分について、当てはまるもの1つに○をつけてください。

受けている	84 (88.4%)	区分1	1 (1.2%)
		区分2	3 (3.6%)
		区分3	0 (0.0%)
		区分4	7 (8.3%)
		区分5	24 (28.6%)
		区分6	44 (52.4%)
		非該当	0 (0.0%)
		わからない	5 (6.0%)
受けていない	11 (11.6%)		
合計	95 (100.0%)		



88.4%が障害支援区分の認定を受けている。このうち区分6が52.4%と最も多く、区分5が28.6%で、合わせて約8割となっている。

- ② 計画相談支援の支給決定を受けていない方が3割弱。
 支給決定を受けてない理由は、8割が「知らない」「わからない」

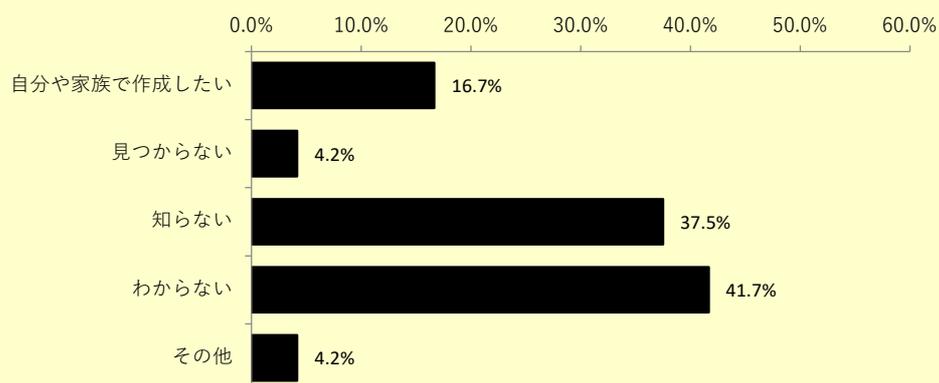
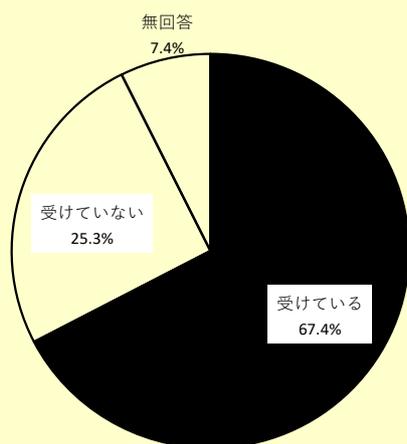
施設入所申込者調査 問9

あなた（調査の対象となる方）は計画相談支援の支給決定を受けていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

施設入所申込者調査 問9（ア）

（ア）計画相談支援の支給決定を受けていない理由を教えてください。該当するものすべてをお答えください。

受けている	64 (67.4%)	受けていない理由 (複数回答)	
受けていない	24 (25.3%)	自分や家族で作成したい	4 (16.7%)
		見つからない	1 (4.2%)
		知らない	9 (37.5%)
		わからない	10 (41.7%)
		その他	1 (4.2%)
無回答	7 (7.4%)	25 (104.2%)	
合計	95 (100.0%)		



計画相談支援の支給決定を受けていない理由のうち、「知らない」「わからない」の合計が約8割となっている。

③現在のサービス利用として、生活介護や短期入所の利用は6割、一方、居宅介護等は3割、外出支援は7割の利用

問10 あなた（調査の対象となる方）が、現在利用している障害福祉サービスの種類について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

また、利用している場合、10月の1か月間で何時間または何日利用しましたか。

		(複数回答)	平均利用数	
訪問系支援	1 居宅介護（ホームヘルプ）	21 (22.1%)	27.2時間	1 22.1%
	2 重度訪問介護	5 (5.3%)	147.6時間	2 5.3%
	3 重度障害者等包括支援	0 (0.0%)	時間	3 0.0%
通所系支援	4 生活介護	58 (61.1%)	19.9日	4 61.1%
入所系支援	5 短期入所（ショートステイ）	55 (57.9%)	7.8日	5 57.9%
	6 療養介護	1 (1.1%)	日	6 1.1%
	7 施設入所支援	1 (1.1%)	10.0日	7 1.1%
外出支援	8 同行援護	5 (5.3%)	33.5時間	8 5.3%
	9 行動援護	29 (30.5%)	289.6時間	9 30.5%
	10 移動支援	35 (36.8%)	83.6時間	10 36.8%
訓練・就労支援	11 就労継続支援A型	2 (2.1%)	19.0日	11 2.1%
	12 就労継続支援B型	8 (8.4%)	18.9日	12 8.4%
	13 就労移行支援	0 (0.0%)	日	13 0.0%
	14 就労定着支援	0 (0.0%)	日	14 0.0%
	15 自立訓練（機能、生活、宿泊型）	0 (0.0%)	日	15 0.0%
住居支援	16 日中サービス支援型グループホーム	2 (2.1%)	31.0日	16 2.1%
	17 介護包括型グループホーム	2 (2.1%)	25.0日	17 2.1%
	18 外部サービス利用型グループホーム	1 (1.1%)	31.0日	18 1.1%
	19 サテライト型グループホーム	0 (0.0%)	日	19 0.0%
障害児支援	20 居宅訪問型児童発達支援	0 (0.0%)	日	20 0.0%
	21 保育所等訪問支援	0 (0.0%)	日	21 0.0%
	22 放課後等デイサービス	0 (0.0%)	日	22 0.0%
	23 児童発達支援	0 (0.0%)	日	23 0.0%
	24 障害児入所支援	0 (0.0%)	日	24 0.0%
	25 障害児相談支援	0 (0.0%)	日	25 0.0%
相談支援	26 計画相談支援	18 (18.9%)	1.0日	26 18.9%
	27 自立生活援助	0 (0.0%)	日	27 0.0%
	28 地域移行支援	0 (0.0%)	日	28 0.0%
	29 地域定着支援	0 (0.0%)	日	29 0.0%
医療費支援	30 自立支援医療（育成、更生、精神通院）	5 (5.3%)		30 5.3%
	31 重度心身障害者医療費助成制度	12 (12.6%)		31 12.6%
福祉用具	32 補装具	4 (4.2%)		32 4.2%
	33 日常生活用具	6 (6.3%)		33 6.3%
その他	34 意思疎通支援	0 (0.0%)		34 0.0%
	35 成年後見制度	3 (3.2%)		35 3.2%
	36 地域活動支援センター	1 (1.1%)		36 1.1%
	37 その他	5 (5.3%)		37 5.3%
	合計	279 (293.7%)		
	対象人数	95 (100.0%)		
	サービスを利用していない	4 (4.2%)		

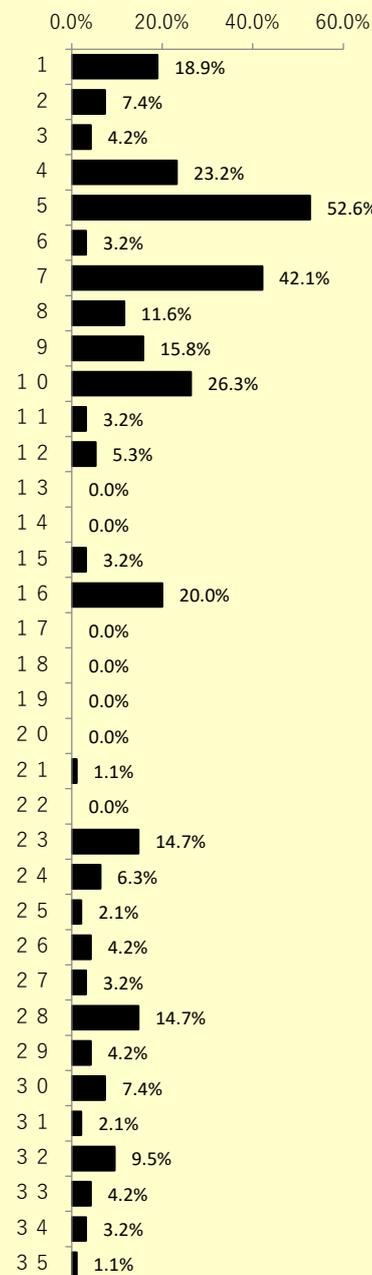
「生活介護」を利用している人が61.1%と最も多く、平均利用数は19.9日となっている。また、「短期入所（ショートステイ）」を利用している人が57.9%で、平均利用数は7.8日となっている。

④今後利用したい又は利用回数を増やしたいサービスは、短期入所、外出支援、生活介護、グループホームと家族の負担軽減となるサービスが多い。

施設入所申込者調査 問11

あなた（調査の対象となる方）が、今後利用したい（又は利用回数を増やしたい）障害福祉サービスについて、当てはまるものすべてに○をつけてください。

		(複数回答)	
訪問系支援	1 居宅介護（ホームヘルプ）	18	(18.9%)
	2 重度訪問介護	7	(7.4%)
	3 重度障害者等包括支援	4	(4.2%)
通所系支援	4 生活介護	22	(23.2%)
入所系支援	5 短期入所（ショートステイ）	50	(52.6%)
	6 療養介護	3	(3.2%)
	7 施設入所支援	40	(42.1%)
外出支援	8 同行援護	11	(11.6%)
	9 行動援護	15	(15.8%)
	10 移動支援	25	(26.3%)
訓練・就労支援	11 就労継続支援A型	3	(3.2%)
	12 就労継続支援B型	5	(5.3%)
	13 就労移行支援	0	(0.0%)
	14 就労定着支援	0	(0.0%)
	15 自立訓練（機能、生活、宿泊型）	3	(3.2%)
住居支援	16 グループホーム	19	(20.0%)
障害児支援	17 居宅訪問型児童発達支援	0	(0.0%)
	18 保育所等訪問支援	0	(0.0%)
	19 放課後等デイサービス	0	(0.0%)
	20 児童発達支援	0	(0.0%)
	21 障害児入所支援	1	(1.1%)
	22 障害児相談支援	0	(0.0%)
相談支援	23 計画相談支援	14	(14.7%)
	24 自立生活援助	6	(6.3%)
	25 地域移行支援	2	(2.1%)
	26 地域定着支援	4	(4.2%)
医療費支援	27 自立支援医療（育成、更生、精神通院）	3	(3.2%)
	28 重度心身障害者医療費助成制度	14	(14.7%)
福祉用具	29 補装具	4	(4.2%)
	30 日常生活用具	7	(7.4%)
その他	31 意思疎通支援	2	(2.1%)
	32 成年後見制度	9	(9.5%)
	33 地域活動支援センター	4	(4.2%)
	34 その他	3	(3.2%)
	35 特になし	1	(1.1%)
合計		299	(314.7%)
対象人数		95	(100.0%)



「短期入所（ショートステイ）」を52.6%の方が今後利用したいと回答。
「同行援護」「行動援護」「移動支援」の外出支援も合計すると53.7%。

⑤生活を共に過ごすのは親が9割、年齢は50歳以上が9割。

施設入所申込者調査 問12

あなた（調査の対象となる方）が普段、一緒に一番目に長く過ごしているのは誰ですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

施設入所申込者調査 問13

問12で答えた方の年齢をお答えください。当てはまるもの1つに○をつけてください。

親	84 (88.4%)	20歳未満	0 (0.0%)
配偶者	0 (0.0%)	20歳代	0 (0.0%)
兄弟・姉妹	5 (5.3%)	30歳代	1 (1.1%)
子・孫	1 (1.1%)	40歳代	5 (5.5%)
その他家族・親戚	1 (1.1%)	50歳代	14 (15.4%)
パートナー（友人や恋人）	0 (0.0%)	60歳代	22 (24.2%)
いない	4 (4.2%)	70歳以上	46 (50.5%)
合計	95 (100.0%)	無回答	3 (3.3%)

「親」と過ごしている人が88.4%で最も多い。
年代は、「70歳以上」が50.5%、「60歳代」が24.2%、「50歳代」が15.4%と、合わせて50歳代以上が約9割を占めている。

施設入所申込者調査 問16

あなた（調査の対象となる方）の施設入所の申し込みを決めた人はどなたですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

(ア) 【「自分以外の人が決めた」と答えた方】

どなたが決めましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

自分で決めた	4 (4.2%)		
自分以外	89 (93.7%)	親	80 (89.9%)
		配偶者	0 (0.0%)
		兄弟・姉妹	6 (6.7%)
		子・孫	0 (0.0%)
		その他家族・親戚	1 (1.1%)
		パートナー（友人や恋人）	0 (0.0%)
		後見人	1 (1.1%)
		その他	1 (1.1%)
わからない	2 (2.1%)		
合計	95 (100.0%)		

93.7%が「自分以外の人が決めた」となっており、そのうち「親」が決めたが89.9%で最も多い。

⑥入所申込を決めたのは親が9割。申込理由として、親亡き後の不安が9割、家族支援の困難が3割。

施設入所申込者調査 問16

あなた（調査の対象となる方）の施設入所の申し込みを決めた人はどなたですか。

当てはまるもの1つに○をつけてください。

(ア) 【「自分以外の人が決めた」と答えた方】

どなたが決めましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

自分で決めた	4 (4.2%)		
自分以外	89 (93.7%)	親	80 (89.9%)
		配偶者	0 (0.0%)
		兄弟・姉妹	6 (6.7%)
		子・孫	0 (0.0%)
		その他家族・親戚	1 (1.1%)
		パートナー (友人や恋人)	0 (0.0%)
		後見人	1 (1.1%)
		その他	1 (1.1%)
わからない	2 (2.1%)		
合計	95 (100.0%)		

93.7%が「自分以外の人が決めた」となっており、そのうち「親」が決めたが89.9%で最も多い。

施設入所申込者調査 問17

あなた（調査の対象となる方）が施設入所を申し込みしているのはなぜですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

	(複数回答)
1 在宅で家族からの支援を受けることができない	25 (26.3%)
2 家に段差などがあり、暮らしづらい	5 (5.3%)
3 施設で訓練を受けたいという目的があった	8 (8.4%)
4 介護サービスやヘルパー時間数などの見守りが不足	7 (7.4%)
5 グループホームなどの地域地盤が不足	19 (20.0%)
6 親亡き後の不安	85 (89.5%)
7 情報がなく施設以外の手立てがない	11 (11.6%)
8 その他	25 (26.3%)
9 わからない	0 (0.0%)
合計	185 (194.7%)
対象人数	95 (100.0%)

親亡き後の不安89.5%、在宅で家族からの支援を受けることができない26.3%

⑦地域生活の継続に必要なと思うサービスは、緊急時の短期入所、緊急時のヘルパーによる介護のニーズが高い。

施設入所申込者調査 問18

あなた（調査の対象となる方）は、どのようなサービスがあれば、引き続き、地域での生活ができると思いますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

	(複数回答)
1 ホームヘルプによる身体介護	31 (32.6%)
2 ホームヘルプによる家事援助	30 (31.6%)
3 ホームヘルプによる見守り	35 (36.8%)
4 ホームヘルプによる外出支援	43 (45.3%)
5 グループホームで生活ができる	37 (38.9%)
6 不安定になった時に、短期入所など緊急時に宿泊できる施設	58 (61.1%)
7 地域で相談できる支援者	36 (37.9%)
8 緊急時にヘルパーによる介護	54 (56.8%)
9 その他	21 (22.1%)
合計	345 (363.2%)
対象人数	95 (100.0%)

緊急短期入所61.1%、緊急ヘルパー56.8%